

東建パブリニュース

平成29年6月7日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年5月30日 住宅新報 P. 9

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

総合建設企業大手の東建コーポレーション（左右田稔社長）を核とする東建グループは10社からなる企業連合体。グループの組織力を活かして多岐にわたる事業を拡大している。グループの一つでリゾート分野を担う東建多度カントリー運営の温泉・ホテル一体型「東建多度カントリークラブ・名古屋」（三重県桑名市多度町）は、4月にJAPANゴルフツアー開幕戦「東建ホームメイトカップ」が開催されるなどの名門ゴルフコースだ。運営と今後について理事長の左右田氏に聞く。



インタビュー
東建グループ
東建多度カントリー
左右田 稔 理事長

深刻なゴルフ離れ
——ゴルフ業界の取り巻く環境はいかがですか。
バブル期にオープンしたゴルフ場が預託金償還不能で倒産するケースに加え、ゴルフ人口の減少で老舗ゴルフ場も

破たんするゴルフ不況時代。倒産すればコースは文字通り「元の山」。若年層プレーヤーも増えておらず、「ゴルフ離れ」は経営の深刻な問題。往年のプレーヤーも加齢による飛距離ダウンでスコアが伸びずゴルフ場から遠のく悪循環が重要。「コースの良さ」を追及・拡充すればプレーヤーにとって最大の満足となる。スコアを伸ばすためティーグラウンドを前よりに変更すればコース距離が短くなり高スコアが期待できる。芝生の刈

ゴルフ場の低迷その打開策

温泉・宿泊一体で24時間稼働
「プレー・プラスαが不可欠」

環境に陥りかけている。——打開策は？
サービスには限界がある。クラブハウスや入浴施設、料理の豪華さを追求しても一時的な満足のみ。滞在時間が一番長いコースに着目すること



温泉・宿泊一体の「東建多度カントリークラブ」

り揃えや雑木刈り、桜や楓の植栽などいわば公園として整備することで「美しいゴルフ場」を具現化する一方、個人人のゴルフスタイルに合わせた設定メニューを提供できれば当ゴルフ場の良さを実感しリピーターとして足を運ぶこ

とにつながらる。
最高のサービスを
——ゴルフ場の「あるべき姿」とは？
時間別売上効率化の敢行。当ゴルフ場の時間別売上げはコースでのプレー、隣接ホテル多度温泉宿泊によって365日24時間稼働。プレー後、温泉に入り食事・宿泊と体を休める。「お客様に最高のサービスを提供すること」売上げにつながらない時間を省き効率よく稼働すること」につながる。これからのゴルフ場経営はゴルフプレー・プラスαの取り組みが不可欠だ。